

Press release

2008 年第 4 四半期営業報告

2009 年 1 月 15 日公表

リオティント最高経営責任者(CEO)の Tom Albanese は、以下の通りコメントしました。「当四半期の生産量は、予想通りの結果となりました。世界経済の下降に対して我々は確固たる対応をとっています。また、リオティントが保有する低コスト資産がもたらす回復力により、経済が回復した際には良好なポジションにいることができると期待できます。」

- 2008 年 11 月 10 日のガイダンスの通り、Pilbara における鉄鉱石生産量を年率 10%引き下げた結果、全世界における当四半期の鉄鉱石生産量は、前年同期比 18%の減少となりました。
- Pilbara での操業による鉄鉱石の年間生産量は 1.75 億トンとなり（100%ベース。リオティント持分ベースでは 1.42 億トン）2007 年と比較して 7%上昇しました。以前のガイダンスの通り、2008 年の Pilbara からの鉄鉱石出荷量は 1.71 億トン（100%ベース）となり、2007 年と比較して 7%上昇しました。
- 2007 年 10 月 24 日付で Alcan の買収が完了したことで、生産量は前年同期と比較して、ボーキサイトで 19%増、アルミナで 26%増、アルミニウムで 21%増となりました。想定比較ベースでは、ボーキサイト及びアルミナはそれぞれ 6%と 3%増加し、アルミニウムは 2%減少しました。これは主にフランス、ニュージーランド、及び英国における生産量削減によるものです。
- Kennecott Utah Copper における銅の品位は引き続き回復しましたが、Escondida における銅品位の更なる低下及び操業面での困難により、総合的には銅採鉱量が対前年同期比で 18%減少し、それに関連してユニットコストが上昇しました。
- 豪州における強粘結炭及び一般炭の生産量は、対前年同期比でそれぞれ 40%と 21%増加しました。
- ウランの生産量は品位の上昇により、対前年同期比で 20%上昇しました。
- マダガスカルにある QMM ミネラルサンドの操業が始まり、2008 年 12 月末に予定通り、イルメナイトの生産が開始されました。
- Rio Tinto Alcan の当四半期の利益は、アルミニウム価格の急激な下落によって負の影響を受けることとなります。さらに在庫に関しては、昨年末時点での実現可能価額を反映した形で評価を減額する予定です。
- 銅の暫定価格により、2008 年下半期の基礎的当期純利益(Underlying earnings)がおおよそ 3.6 億ドル減少することが予想されます。
- 探鉱及び評価コストは年間合計で、11.35 億ドル（税前ベース）となることが予想され、これには 1.76 億ドルのプロジェクトコスト及び未開発探鉱資産の評価減が含まれています。

この報告書に記載されている通貨は、別途記載がない限り全て米ドルです。同様に説明文に関しても、別途記載がない限り、リオティントの持分に関するものとなります。

2009 年末までに、純有利子負債(Net Debt)を 100 億ドル減らすコミットメント

2008 年 12 月 10 日にリオティントは、2009 年までに純有利子負債を 100 億ドル減らすための、主要な戦略及びコミットメントを以下の通り発表しました。

- 将来の成長機会は維持しつつ、2009 の設備投資ガイドラインを 90 億ドル以上から 40 億ドルまで減少させました。
- 期待通り商品市況に改善が見られない場合、2010 年の設備投資は、維持・更新投資水準まで減少させます。
- 2010 年までに管理可能な操業コストを最低でも年間 25 億ドル削減します。
- グローバルで 14,000 名の人員削減 (8,500 名：請負業者、5,500 名：社員)
- 2008 年の配当金は、2007 年と同じ一株あたり 136 米セントとなり、2008 年及び 2009 年の 20%の増配はなくなりました。
- 従来は売却について未検討であった重要な資産も含め売却目的資産の範囲を拡大。

グループのプロジェクト関連投資の削減影響は、残りの 1 月及び 2 月の間に一連のローカルアナウンスメントとして発表されます。これらは 2 月 12 日公表予定の”Preliminary annual results”でまとめられます。

鉄鉱石

リオティントの生産シェア

(単位：千トン)

	08 年 4Q	07 年 4Q 比	08 年 3Q 比	08 年 通年	07 年 年間比
Hamersley	22,136	-23%	-28%	109,968	+2%
Hope Downs	1,662	n/a	+8%	5,468	n/a
Robe River	5,250	-30%	-25%	26,631	-2%
IOC	2,282	+1%	-8%	9,295	+20%

Pilbara における操業

当四半期における生産量は 3,600 万トン (リオティント持分ベース: 2,900 万トン) となり、対前年同期比で 18%減 (リオティント持分ベース: 20%減) となりました。

この生産量減少は、2008 年 11 月 10 日のガイダンスの通り、第四・四半期における中国の需要減の結果、お客様からの出荷要求の見直しにより生産調整が必要となったためです。当四半期の生産減の結果、単位コストの増加や限界利益点の悪化となりました。

世界的な鉄鉱石マーケットが弱まったため、Channar 及び Brockman2 鉱山の操業は 11 月に中断いたしました。これに続いて、12 月後半に 2 週間、Pilbara における全ての鉱山と鉄道の操業を中断いたしました。操業は 2009 年 1 月上旬に再開しています。これらの措置は、当初のガイダンスに織り込まれているものであり、追加的なものではありません。

当四半期におけるハイライトには、Cape Lambert 港の年率 8,000 万トン体制への能力拡張の完了や Hope Downs South 鉱山における最初の鉄石生産などが挙げられます。これらの画期的な出来事は、計画より早く予算内で達成でき、Pilbara におけるインフラ能力が年率 2 億 2000 万トンにまで拡張されることとなります。

2009 年 1 月、リオティントは、西豪州における 3 億 7100 万ドルの列車自動操業化計画の延期を発表いたしました。

HI Smelt

鉄鉄需要が大幅に落ち込んだため、HI Smelt の操業は 12 月中旬から 3 ヶ月間中断いたしました。

Corumbá

リオティント社は、Corumbá 鉱山及びそれに関連した物流に関する 21.5 億ドルの拡張計画の延期を 2009 年 1 月に発表いたしました。

アルミニウム

リオティントの生産シェア

(単位：千トン)

	08年4Q	07年4Q比	08年3Q比	08年通年	07年年間比
Rio Tinto Alcan					
Bauxite	9,119	+19%	+3%	34,987	+67%
Alumina	2,336	+26%	+7%	9,009	+132%
Aluminium	1,011	+21%	-0%	4,062	+176%

リオティントの生産シェア

(単位：千トン)

	07年4Q	07年4Q比	07年年間	07年年間比
Rio Tinto Alcan	想定 ¹	想定 ¹	想定 ¹	想定 ¹
Bauxite	8,634	+6%	31,357	+12%
Alumina	2,269	+3%	8,515	+6%
Aluminium	1,034 ²	-2% ²	4,066 ²	+0% ²

¹ 2007年1月1日以降のAlcanのデータを含む。² 2007年上半期に売却したVlissingen(オランダ)及び2008年第1四半期に閉鎖したLannemezan(フランス)を除く。

Alcanの買収によって、当四半期におけるボーキサイト、アルミナ、及びアルミニウムの生産量は前年同期比で大きく増加しました。リオティントは2007年10月24日付けで、Alcanの事業資産を取得しており、生産についてもこの日から含まれています。2007年におけるRio Tinto Alcanの想定(2007年初頭からAlcan生産分を含めた想定ベースの数字)による生産量データは、2008年3月12日に公開され、リオティントのホームページより入手できます。

ボーキサイト

当四半期のボーキサイトの生産量は、前年同期比で19%増となり、(Alcanの昨年の生産量を加味した)想定比較ベースでも6%増加しています。当四半期のWeipaにおけるボーキサイトの生産量は、前年同期比で4%増となりましたが、これは、社外からの需要及び、社内からの追加需要が反映されたものです。ギニアのCBG Sangaredi鉱山においては、特に年末近くの政治的に困難な状況にもかかわらず、当四半期においても過去最高の生産率を維持することができました。

アルミナ

当四半期におけるアルミナ生産量は、前年同期比で26%増となり、想定比較ベースでも3%増加しています。Yarwun精製所は、第3四半期において発生したパイプライン障害の後、フル生産まで回復した一方で、Gove精製所は着実に精製能力を拡張しており、第3四半期と比較して9%増加しました。Gove精製所は、2009年に年間3百万トンの生産量を達成する見込みです。カナダのJonquiere精製所では、より高く目標設定した生産フローで生産が安定し、当四半期においては過去最高の数量を達成することができました。

アルミニウム

当四半期のアルミニウム生産量は、前年同期比で21%増となり、想定比較ベースでは前年同期比で2%低くなりました。カナダにおける製錬所のより堅調な生産実績が、欧州及びニュージーランドにおける減産による生産減を凌ぐ結果となりました。オマーンにあるSohar製錬所の操業開始は予定通り進んでおり、当四半期においては、4万トン以上(100%ベース)のメタルを生産しました。

当四半期の終わりの時点で、Rio Tinto Alcanは製錬所の能力の約5%を削減しました。Rio Tinto Alcanにおける現状の操業能力は概ね、コストカーブの下端部分にあるとはいえ、最近における市場の低迷化に照らし、よりコストの高い製錬設備における生産についての見直しを続けています。これは更なる減産につながる可能性があります。

銅

リオティントの生産シェア

(単位：千トン/金=千オンス)

	08年4Q	07年4Q比	08年3Q比	08年通年	07年年間比
KUC ¹					
銅採鉱量	63.8	+20%	-8%	238.0	+12%
銅地金生産量	58.6	-1%	+44%	200.6	-24%
モリブデン	2.0	-34%	-33%	10.6	-29%
金採鉱量	101	+12%	-8%	374	-8%
金地金生産量	72	-46%	-6%	303	-42%
Escondida					
銅採鉱量	66.0	-36%	-10%	384.5	-9%
銅地金生産量	21.9	+39%	+18%	77.3	+8%

¹KUC (Kennecott Utah Copper)

リオティントの銅採鉱量は、前年同期比で18%減少しました。副産物クレジットも著しく低く、これらにより単位あたりのコストが急上昇しました。

Kennecott Utah Copper

当四半期においては、粗鉱品位の最大化に焦点を当てた努力が行われ、その結果として金及び銀の品位が上昇しました。鉱脈の変化により、モリブデンの品位及び生産量が2008年第3四半期比、及び前年同期比で減少しました。2008年においては、選鉱所の粗鉱処理量は過去最高を達成することができました。

第4四半期の銅精鉱の製錬量及び地金の精錬量が第3四半期に比べ増加したのは、7月と8月に行われた定期炉修により、工場稼働率が上昇したのが主な理由です。さらに、銅鉱石中の銅品位の改善により銅精鉱の供給量が増加しました。より高品位な鉱石が、地金の生産に達するまで約3ヶ月かかります。

Escondida

当四半期における銅採鉱量は、前年同期比で36%減となりました。銅精鉱の生産は、粗鉱品位の大幅な低下、且つ、第3四半期に報告されたLaguna Seca SAGミルにおける電気系統の問題により減少しました。尚、SAGミルの電気系統のトラブルは2009年上半年期まで継続することが見込まれています。

Grasberg

リオティントの銅に関する合弁事業の持分は、2007年と比較して大幅に減少しました。これは、剥土(金属換算)の計算に準拠した割当が減少したことを反映したものです。

Freeportは、2009年1月26日に当四半期における100%実績の操業データを公表しませんでした。

その他の操業

Northparkesの銅品位は、さらに回復しました。これは、坑内掘りのE26 Lift2 Northがフル生産に到達した事で、より低品位な露天掘りの鉱石を代替する事が可能になった為です。

2009年1月にリオティントは、Northparkesにおける2.29億ドルのE48ブロックケービングプロジェクトの延期を発表しました。

Palaboraにおける銅精鉱中の銅量は前年同期比で22%増加しました。主な理由として、9,300トンの低品位な鉱石を在庫から再利用、且つ製錬所からの2次原料の再処理量の増加によるものです。

暫定価格

銅売上上の暫定価格による影響は、2008年下半期の基礎的当期純利益 (underlying earnings) を3.6億ドル減少させることが予測されます。

リオティントグループの当四半期末において、1.83億ポンドの銅の売上高が、ポンドあたり133米セントの暫定価格を用いて計上されました。これらの売上高の最終価格は、2009年の上半期に決定されます。因みに、30日2008年6月の時点では2.73億ポンドがポンドあたり389米セントの暫定価格で計上されていました。

ダイヤモンド

リオティントの生産シェア

(単位：千カラット)

	08年4Q	07年4Q比	08年3Q比	08年通年	07年年間比
Argyle	5,253	-12%	+13%	15,076	-20%
Diavik	1,558	-12%	+12%	5,535	-23%

当四半期における Argyle の生産量は、前年同期比で 12%減となりました。しかし、第 3 四半期と比較した場合、品位が高い区域へのアクセスが改善したことで、ダイヤモンドの生産量が 13%上昇しました。露天掘りの寿命が終わりに近づいている事と坑内掘りの操業へ移行するため、粗鉱品位及び生産量の変動は継続します。

リオティントは、Argyle 坑内掘りプロジェクトを重要な開発活動に絞り減速すること、及び、3月より開始するダイヤモンド加工施設の点検による操業停止を最大 3ヶ月まで延長することを 2009年1月に発表しました。

当四半期における Diavik の生産量は、前年同期比で 12%減少しました。主な原因は、2007年第4四半期から始まった全体的な採掘品位の減少によるものです。生産量の減少は、採掘品位の減少、A418パイプの操業開始段階から泥が多く混入したこと、さらに、A154の坑道壁が不安定化のため、A418の鉱石のほうが多く処理された結果によるものです。

エネルギー

米国一般炭

リオティントの生産シェア

(単位：千トン)

	08年4Q	07年4Q比	08年3Q比	08年通年	07年年間比
RTEA ¹	34,038	+2%	-3%	130,755	+5%

¹ Rio Tinto Energy America

Powder River Basin において生産される石炭の好調な顧客需要は、Rio Tinto Energy America における鉱山の段階的拡張により支えられ、2008年において過去最高の年間生産量を達成できました。

豪州石炭

リオティントの生産シェア

(単位：千トン)

	08年4Q	07年4Q比	08年3Q比	08年通年	07年年間比
RTCA ¹					
強粘結炭	2,162	+40%	-1%	7,431	+20%
その他石炭 ¹	5,737	+21%	+7%	22,094	+11%

¹ Rio Tinto Coal Australia

当四半期における Queensland 州の石炭操業による強粘結炭の生産量は、需要の増加と港湾設備の能力が増えた結果、前年同期比で 40%増加しました。世界の鉄鋼産業が減速している結果、Kestrel における生産量は、2009年には 15%減少することが予想されています。

Hunter Valley 地区においては、引き続き価格上昇のメリットを得るために、引き続き非微粘結炭の生産量が重点的に取り組まれました。New South Wales 州における滞船は管理可能な水準で維持され、また港湾の割当数量に沿った生産となりました。

Queensland 州の Blair Athol における一般炭の操業においては、追加で購入した港湾の割当数量に対応するため、生産量を増加することができました。

Newcastle 及び Dalrymple Bay における石炭積出港の所有者及び操業者による投資プログラムの結果、2010年より出荷能力が増強される見込みです。

ウラン

リオティントの生産シェア

(単位：千ポンド)

	08年4Q	07年4Q比	08年3Q比	08年通年	07年年間比
ERA ¹	2,492	+9%	+31%	8,052	+1%
Rössing	1,707	+40%	+7%	6,149	+34%

¹Energy Sources of Australia

ERA 及び Rössing はともに、引き続きより高品位な鉱石へのアクセスができたため、第3四半期又は、前年同期比で比較しても、生産レベルは更に回復しました。

産業用鉱産物

リオティントの生産シェア

(単位：千トン)

	08年4Q	07年4Q比	08年3Q比	08年通年	07年年間比
ホウ酸塩	121	-20%	-27%	610	+9%
酸化チタン原材料	369	-4%	-6%	1,524	+4%

当四半期における産業用鉱産物の生産量は、主要な全地域において発生している経済活動の減速により減少しました。

探鉱及び評価

2008年の探鉱及び評価に関する税前の費用は、損益勘定に11.35億ドル費用計上され、前年同期においては5.7億ドル費用計上されました。費用計上された11.35億ドルの中には、プロジェクトコストの償却費及びその他未開発の探鉱鉱区の償却費(合計1.76億ドル)を含んでいます。

Resolution (銅・金/米国)、La Granja (銅/ペルー)、Eagle (ニッケル・銅/米国)、Potasio Rio Colorado (カリウム/アルゼンチン)、Simandou (鉄鉱石/ギニア)、及び複数あるPilbaraの鉄鉱石鉱床といった数多くのプロジェクトにおいて、予備事業化調査(pre-feasibility study) 又は、事業化調査(feasibility study) が進みました。上記の数多くのプロジェクト(特にSimandou、La Granja、Resolution)における評価業務は、近年の経済状況を勘案して、相当な規模縮小が行われました。

MozambiqueにあるMutambaのチタンサンドプロジェクト、インドにあるBunderのダイヤモンドプロジェクト、及びSerbiaにあるJadarのリチウムホウ酸塩における初期的事業価値(Order of Magnitude)が完了しました。2009年第1四半期に予測資源量が発表される予定です。Bunder及びMutambaプロジェクトに関するマネジメントは、それぞれRio Tinto Diamonds及びRio Tinto Iron and Titaniumに渡されました。

ミネソタにあるTamarack Southのニッケル・銅の採掘有望地において、採掘ドリル調査が引き続き行われ、良質鉱を採掘するための数多くの交差を生み出しました。鉱脈はドリリングによって、まだ完了しておらず、更なる穴が必要となります。

モンゴルにあるAltai Nuursの原料炭プロジェクトにおけるドリリングは引き続き行われました。炭層の品質分析により、低揮発性強粘結炭と輸出可能な品質の一般炭の組み合わせであることが確認されました。

British ColumbiaにあるCrownsnestの原料炭プロジェクトの鉱区において、三回目の深穴ドリリングが行われました。石炭の品質分析により、三箇所全ての穴で複数の石炭が発見される事が期待されています。

SaskatchewanにあるReginaの酸化カリウムの探鉱ドリリングが引き続き行われており、年末には合計五つの穴が完成する予定です。大よそ1,650メートルの深さのある5つの穴全て、流域分析、地震解釈、及びドリリングによってPatience Lake、Belle Plaine、及びEsterhazyの酸化カリウム層の存在が認められました。ドリリング及び地震解釈によると、層序は卓越した連続性を表しています。

ブラジルにある Amargosa のボーキサイト探鉱プロジェクトは進んでいます。マッピングとオーガーによるドリリングは、広さ、鉱石品位、及びボーキサイト産出を明らかにしました。この作業は、2009 年にも引き続き行われ、更にこの資源の可能性について明確にしていきます。

今期の活動をまとめた表は以下の通りとなります。

商品事業部	進行したプロジェクト	新規プログラム
アルミニウム	Amargosa、ブラジル	豪州、ブラジル、ガイアナ
銅及びダイヤモンド	銅：Tamarack South 米国 ダイヤモンド：Bunder インド	銅：チリ、カザフスタン、米国、及びペルー ダイヤモンド：インド、カナダ、米国、ロシア、及びコンゴ共和国
エネルギー及び産業用鉱産物	石炭：Altai Nuur モンゴル Crownsnest カナダ 産業用鉱産物： Mutamba イルメナイト Mozambique Jadar - リチウムホウ酸塩 Serbia Regina 酸化カリウム カナダ	石炭：アルゼンチン、カナダ、南アフリカ、及びモンゴル 産業用鉱産物：豪州、トルコ
鉄鉱石	ピルバラ、豪州	ブラジル、コンゴ共和国

鉱山リースによる探鉱については、Kennecott Utah Copper、Northparkes、Energy Resources of Australia、Rössing、Diavik、及びPilbara Ironを含む、リオティントの数多くの事業で引き続き行われています。ERAにおいては、探鉱の目標を1,500万トン - 2,000万トンの探鉱目標を発表しました。これは、潜在的には酸化ウランで3万 - 4万トン相当量です。

<以下英文の報告書抜粋>

About Rio Tinto

Rio Tinto is a leading international mining group headquartered in the UK, combining Rio Tinto plc, a London and NYSE listed public company, and Rio Tinto Limited, which is a public company listed on the Australian Securities Exchange.

Rio Tinto's business is finding, mining, and processing mineral resources. Major products are aluminium, copper, diamonds, energy (coal and uranium), gold, industrial minerals (borax, titanium dioxide, salt, talc) and iron ore. Activities span the world but are strongly represented in Australia and North America with significant businesses in South America, Asia, Europe and southern Africa.

Forward-Looking Statements

This announcement includes "forward-looking statements" within the meaning of Section 27A of the Securities Act of 1933, as amended, and Section 21E of the Securities Exchange Act of 1934, as amended. All statements other than statements of historical facts included in this announcement, including, without limitation, those regarding Rio Tinto's financial position, business strategy, plans and objectives of management for future operations (including development plans and objectives relating to Rio Tinto's products, production forecasts and reserve and resource positions), are forward-looking statements. Such forward-looking statements involve known and unknown risks, uncertainties and other factors which may cause the actual results, performance or achievements of Rio Tinto, or industry results, to be materially different from any future results, performance or achievements expressed or implied by such forward-looking statements.

Such forward-looking statements are based on numerous assumptions regarding Rio Tinto's present and future business strategies and the environment in which Rio Tinto will operate in the future. Among the important factors that could cause Rio Tinto's actual results, performance or achievements to differ materially from those in the forward-looking statements include, among others, levels of actual production during any period, levels of demand and market prices, the ability to produce and transport products profitably, the impact of foreign currency exchange rates on market prices and operating costs, operational problems, political uncertainty and economic conditions in relevant areas of the world, the actions of competitors, activities by governmental authorities such as changes in taxation or regulation and such other risk factors identified in Rio Tinto's most recent Annual Report on Form 20-F filed with the United States Securities and Exchange Commission (the "SEC") or Form 6-Ks furnished to the SEC. Forward-looking statements should, therefore, be construed in light of such risk factors and undue reliance should not be placed on forward-looking statements. These forward-looking statements speak only as of the date of this announcement. Rio Tinto expressly disclaims any obligation or undertaking (except as required by applicable law, the UK Listing Rules, the Disclosure and Transparency Rules of the Financial Services Authority and the Listing Rules of the Australian Securities Exchange) to release publicly any updates or revisions to any forward-looking statement contained herein to reflect any change in Rio Tinto's expectations with regard thereto or any change in events, conditions or circumstances on which any such statement is based. Nothing in this announcement should be interpreted to mean that future earnings per share of Rio Tinto plc or Rio Tinto Limited will necessarily match or exceed its historical published earnings per share.

【本件に関するお問い合わせ先】

豪州

Media Relations

Amanda Buckley

電話：+61-3-9283-3627

携帯：+61-419-801-349

Ian Head

電話：+61-3-9283-3620

携帯：+61-408-360-101

アメリカ、南米

Media Relations

Tony Shaffer

電話：+1-202-393-0266

携帯：+1-202-256-3667

豪州

Investor Relations

Dave Skinner

電話：+61-3-9283-3628

携帯：+61-408-335-309

Simon Ellinor

電話：+61 -7 3867-1607

携帯：+61-439-102-811

アメリカ

Investor Relations

Jason Combes

電話：+1-801-204-2919

携帯：+1-801-558-2645

ロンドン

Media Relations

Christina Mills

電話：+44-20-7781-1154

携帯：+44-7825-275-605

Nick Cobban

電話：+44-20-7781-1138

携帯：+44-7920-041-003

ロンドン

Investor Relations

Nigel Jones

電話：+44-20-7781-2049

携帯：+44-7917-227-365

David Ovington

電話：+44-20-7781-2051

携帯：+44-7920-010-978

メール：questions@riotinto.com ウェブサイト：www.riotinto.com

高画質な映像は右のリンク先より参照可能です：www.newscast.co.uk

日本

財務業務部

植松 健

電話：03-3222-2440

携帯：090-4012-5960

メール：Ken.Uematsu@riotinto.com

大木 龍

電話：03-3222-2440

携帯：090-8847-0607

メール：Ryo.Ohki@riotinto.com